

とやま

市議会だより

TOYAMA CITY ASSEMBLY

No.73

令和4年 3月定例会

発行日 令和4年(2022年)5月20日

発行 富山市議会

編集 議会報編集委員会

TEL 443-2158 / FAX 443-2196

ホームページ <https://www.city.toyama.toyama.jp>

メールアドレス gijityousa-01@city.toyama.lg.jp

詳しい情報は、
ホームページをご覧ください。

富山市議会

検索



富山市議会
ホームページ



市立探偵ペロリッチのTOYAMACITY/DLE

主な内容

議会役員および議会選出役員改選	2
3月定例会の概要、可決した主な議案等	3
3年度補正予算、会派別賛否一覧等	4
委員会・諸会議	5
常任委員会	6
代表質問	8
一般質問	11
議会中継、会議録、請願・陳情等	15
アンケート結果	16



八尾中学校と杉原中学校が統合・移転し、4月から新たに開校した八尾中学校新校舎



就任のあいさつ



議長
鋪田 博紀



副議長
成田 光雄

このたび、議長ならびに副議長に就任いたしました。
本市では、新型コロナウイルス感染症防止対策のほか、本格的な少子・高齢社会の到来や、激甚化する災害の頻発、ICT等の技術革新の進展、老朽化する公共インフラの増大などの重要課題への取り組みが求められております。

このような課題に対し、今後も市民の皆さまの声にしっかりと耳を傾けるとともに、将来に向かって明るい希望が持てるよう議会力を高め、施策を発信し、市民福祉の向上に誠心誠意取り組んでまいります。

※常任委員会の所管事項等は
こちらからご確認いただけます。



議会役員 および 議会選出役員 改選

議長 鋪田 博紀

副議長 成田 光雄

◎は委員長 ○は副委員長

(議会改革検討調査会、政務活動費のあり方検討会およびタブレット端末等導入検討会は座長、副座長)

常任委員会

【予算決算委員会】

◎高田 重信 ●松井 桂将

(※議長を除く全議員で構成)

総務文教委員会

【予算決算委員会
総務文教分科会】

厚生委員会

【予算決算委員会
厚生分科会】

経済環境委員会

【予算決算委員会
経済環境分科会】

建設委員会

【予算決算委員会
建設分科会】

◎松井 邦人 ○田辺 裕三	◎久保 大憲 ○東 篤	◎泉 英之 ○澤田 和秀	◎金谷 幸則 ○豊岡 達郎
金岡 貴裕 松尾 茂	柏 佳枝 織田 伸一	飯山 勝彦 舎川 智也	藤田 克樹 高原 譲
尾上 一彦 村石 篤	吉田 修 竹田 勝	高田 真里 大島 満	岡部 享 江西 照康
鋪田 博紀 高田 重信	上野 蛍 押田 大祐	橋本 雅雄 横野 昭	谷口 寿一 松井 桂将
赤星ゆかり 柞山 数男	高道 秋彦 成田 光雄	佐藤 則寿	金厚 有豊

議会運営委員会

議会報編集委員会

議会改革検討調査会

政務活動費のあり方検討会

◎高道 秋彦 ○押田 大祐	◎舎川 智也 ○柏 佳枝	◎高田 真里 ○高原 譲	◎松尾 茂 ○織田 伸一
久保 大憲 金谷 幸則	藤田 克樹 織田 伸一	金岡 貴裕 織田 伸一	金岡 貴裕 飯山 勝彦
岡部 享 舎川 智也	澤田 和秀 高原 譲	上野 蛍 舎川 智也	吉田 修 金谷 幸則
江西 照康 高田 真里	田辺 裕三 豊岡 達郎	江西 照康 大島 満	竹田 勝 上野 蛍
松尾 茂 横野 昭	吉田 修 東 篤	谷口 寿一 尾上 一彦	押田 大祐 高田 真里
		松井 桂将 村石 篤	大島 満 谷口 寿一
		高田 重信 赤星ゆかり	橋本 雅雄 村石 篤

平成29年度～令和2年度の
検討事項の協議結果



タブレット端末等導入検討会

富山市監査委員

富山地区広域圏 事務組合議会議員

富山県後期高齢者医療 広域連合議会議員

◎鋪田 博紀 ○成田 光雄
金岡 貴裕 藤田 克樹
豊岡 達郎 吉田 修
岡部 享 上野 蛍
舎川 智也 押田 大祐
江西 照康 高道 秋彦
東 篤 大島 満
谷口 寿一 尾上 一彦
松井 桂将 赤星ゆかり

江西 照康 横野 昭

藤田 克樹 飯山 勝彦
泉 英之 岡部 享
竹田 勝 谷口 寿一
尾上 一彦 佐藤 則寿
金厚 有豊 鋪田 博紀

金厚 有豊 高田 重信
柞山 数男

富山市土地開発公社 理事

富山市社会福祉審議会 委員

富山市都市計画審議会 委員

柏 佳枝 松井 邦人
竹田 勝 押田 大祐
高田 真里 大島 満

舎川 智也

飯山 勝彦 久保 大憲
高道 秋彦 松井 桂将
横野 昭 赤星ゆかり

※令和4年3月24日現在

令和4年3月定例会の概要

総額3,467億余円の令和4年度予算決まる。

令和4年3月富山市議会定例会は、2月28日から3月24日まで25日間の会期で開かれました。令和4年度富山市一般会計予算などの予算案件、令和3年度補正予算案件、条例案件、契約案件、意見書等について審議し、合わせて82議案が原案のとおり決まりました。

定例会の日程

2月28日	本会議（提案理由説明ほか）
3月4日	本会議（代表質問ほか）2会派
3月7日	本会議（代表質問）2会派（一般質問）2人
3月8日	本会議（一般質問）7人
3月10日	本会議（一般質問）7人
3月11日	本会議（一般質問ほか）5人 予算決算委員会（前期全体会・補正分、当初分） 常任委員会・分科会（補正分）
3月14日	予算決算委員会（後期全体会・補正分） 本会議（補正分の委員長報告・討論・採決）
3月15日	予算決算委員会分科会（経済環境）・経済環境委員会
3月16日	予算決算委員会分科会（厚生）・厚生委員会
3月17日	予算決算委員会分科会（建設）・建設委員会
3月18日	予算決算委員会分科会（総務文教）・総務文教委員会
3月22日	予算決算委員会（後期全体会・当初分）
3月24日	本会議（当初分の委員長報告・討論・採決ほか）



令和4年度の予算規模（当初）

(円)

一般会計	1,678億9,825万6千
特別会計	1,329億1,173万
企業会計	459億2,088万1千
合計	3,467億3,086万7千

可決した主な議案

○令和4年度の予算等

■予算案件

主な事業【重点施策別】

<p>子育て支援と次世代を担う人材育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所建設事業 ・学校再編推進事業 ・産後のママケアサポート事業 	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急経営基盤安定資金貸付事業 ・農林水産物をもっと！楽しモーキャンペーン事業 ・PCR検査体制強化事業
<p>コンパクトシティの深化・スマートシティ・国土強靱化による安全で安心なまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山本線活性化事業 ・AIカメラ等によるスマートプランニング事業 ・スマートシティ推進事業 	<p>ゼロカーボンシティの実現に向けた取組と産業活力の向上による稼げるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割山森林公園天湖森整備事業 ・スマート農業等基盤整備推進事業 ・稼げる観光推進事業
<p>あらゆる人・地域が繋がるまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防総合情報管理システム改修事業 ・景観まちづくり推進事業 ・薬都とやま価値創造事業 	

■条例案件

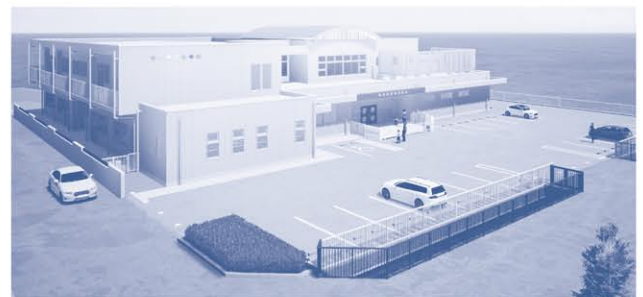
○富山市事務分掌条例の一部を改正する条例制定の件

■その他の議決案件

○ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議

富山市議会は、ロシア軍による侵略を最も強い言葉で非難し、ロシアに対し、即時に攻撃を停止して部隊をロシア国内に撤収するとともに、誠実に国際法を遵守して平和的な対応をすることを強く求め、また政府においては、本市議会の意を体し、ウクライナに存在する邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会とも連携し、制裁を含め、事態に迅速かつ厳格な対応を行い、あらゆる外交資源を駆使してウクライナの平和を取り戻すことを強く要請する決議を全会一致で可決しました。

※決議全文については、富山市議会のホームページにてご覧いただけます。



移転改築される（仮称）婦中熊野・宮川保育所のイメージ図

○令和3年度の補正予算等

(円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	1,961億2,096万	55億4,594万8千	2,016億6,690万8千
特別会計	1,370億1,965万7千	▲25億8,783万5千	1,344億3,182万2千
企業会計	466億1,638万5千	660万	466億2,298万5千
合計	3,797億5,700万2千	29億6,471万3千	3,827億2,171万5千

■予算案件

○3年度富山市一般会計補正予算

- ・ 公共施設複合化事業委託料（大沢野・大山地域）
- ・ 市道整備事業費（ブルバール再整備工事等）
- ・ 橋りょう維持補修事業費（千里1号橋架替工事等）
- ・ 保育士等処遇改善事業補助金

○継続費補正

- ・ （変更）公園整備事業費（呉羽丘陵フットパス連絡橋）



八田橋架替（旧橋脚撤去）工事の様子（永楽町外地区）

■契約案件

○特定事業変更契約締結の件

- ・ 八尾地域統合中学校設計・建設・維持管理・運営事業

○工事請負変更契約締結の件

- ・ 八田橋架替（旧橋脚撤去）工事

■その他の議決案件

○土地取得の件 ・ 城山公園用地

意見書

次の意見書を可決し、国会および関係行政庁などへ提出しました。

意見書とは、市の公益に関することについて議会の意思を意見としてまとめた文書のことです。

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書（議員提出議案第2号）	厚生労働大臣 他6件へ提出
原油等価格高騰対策に関する意見書（議員提出議案第3号）	経済産業大臣 他9件へ提出
保育や教育現場の性犯罪等を根絶する「日本版DBS」の早急な創設を求める意見書（議員提出議案第4号）	国務大臣 子育て政策担当 他9件へ提出
介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書（議員提出議案第5号）	厚生労働大臣 他4件へ提出
地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書（議員提出議案第6号）	国務大臣 デジタル田園都市国家構想担当 他10件へ提出

陳情

審議された結果は、次のとおりです。

市政への要望・意見等がある場合に、市議会に提出する文書のうち、議員の紹介があるものを請願、ないものを陳情といいます。

稲荷公園駐車場の放置自動車及び利用目的実態調査等に関する陳情	不採択
--------------------------------	-----

議案・意見書の会派別賛否一覧

賛否が分かれた議案等については、次のとおりです。

表中の見方：「○」＝賛成 「×」＝反対 ※会派人数は、議長と欠席議員を除いたもの。

議決日	件名	議決結果	富山市議会 自由民主党 (14人)	自由民主党 (8人)	公明党 (4人)	立憲民主 市民の会 (3人)	会派 誠政 (2人)	日本共産党 (2人)	気魄 (1人)	政策フォー ラム32 (1人)	日本 維新の会 (1人)
3月14日	議案 第40号 令和3年度富山市一般会計補正予算（第11号）	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○
3月24日	議案 第1号 令和4年度富山市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	議員提出議案 第7号 感染状況に対応した体制整備を求める意見書	否決	×	○	×	○	×	○	×	○	○
	議員提出議案 第8号 地域の優良な品種を守り育て、地域農業の発展を 求める意見書	否決	×	○	×	○	×	○	×	○	○

全ての議案に対する議員個人ごとの賛否の一覧表を富山市議会のホームページに掲載しています。
また、本会議で、賛成討論・反対討論があったものについて、一覧表の中に討論の要旨も掲載しています。▶



委員会・諸会議

定例会中の本会議や常任委員会のほかにも、委員会等を開催し、市政についての課題や、議会改革などについて協議しています。

日付	委員会等	協議事項等
1月18日	議会改革検討調査会	<ul style="list-style-type: none"> 委員会調査手法のオンライン化 委員会記録の永久保存および公開 正・副議長選挙にあたっての所信表明 ジェンダー平等推進の取り組み
20日	各派代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> 各派代表者会議の会派構成 役員改選 会派控室 「富山市議会議員等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合及び感染の疑いがある場合の対応基準」の改正
28日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3月定例会の運営
2月8日	災害対策会議	<ul style="list-style-type: none"> 議員の新型コロナウイルス感染症の発生を受けた今後の議会運営等
14日	各派代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> 議会改革検討調査会の協議結果 閉校式・閉園式への出席 「富山市議会議員等が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合及び感染の疑いのある場合の対応基準」の改正 「新型コロナウイルス感染時の議会対応について」の改正 令和4年度議会費当初予算（案）
15日	タブレット端末等導入検討会	<ul style="list-style-type: none"> タブレット端末の選定 ペーパーレス会議システムの選定 その他（今後のスケジュールなど）
21日	議案説明会	<ul style="list-style-type: none"> 3月定例会提出予定案件の概要
	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3月定例会の運営 議会改革検討調査会の協議結果
	政務活動費のあり方検討会	<ul style="list-style-type: none"> クレジットカード・電子マネー決済 各種様式の記載項目
28日	各派代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> 新設される部局の所属委員会 人事案件
	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 一般質問の順序
	議会報編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> とやま市議会だより（No.73）
3月1日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 3月定例会の運営 委員会条例の一部改正
4日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議（案） 本会議の進め方
9日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 追加議案
10日	委員長会議	<ul style="list-style-type: none"> 議案の委員会付託
11日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 会派から提出された意見書（案） 決議（案）
	各派代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> 役員改選
14日	委員長会議	<ul style="list-style-type: none"> 補正予算等の委員会審査結果の確認
17日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 意見書・決議 議員派遣の件
24日	議会運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> 本会議の進め方
	委員長会議	<ul style="list-style-type: none"> 当初予算等の委員会審査結果等の確認
	予算決算委員会	<ul style="list-style-type: none"> 正・副委員長（座長）の互選ほか
	総務文教委員会	
	厚生委員会	
	経済環境委員会	
	建設委員会	
	議会運営委員会	
	議会改革検討調査会	
	議会報編集委員会	
政務活動費のあり方検討会		
4月6日	議会報編集委員会	<ul style="list-style-type: none"> とやま市議会だより（No.73）の発行



議会運営委員会の様子

常任委員会 (予算決算委員会)

5つの常任委員会において、付託された議案などを審査し、14日、24日の本会議では、各委員会の審査の概要と結果が報告されました（各分科会の報告は14日、22日の予算決算委員会）。その内容の一部を掲載します。

予算決算委員会

3年度富山市一般会計補正予算、4年度富山市一般会計予算など36件については、いずれも原案のとおり「可決」、「承認」した。

総務文教分科会

3年度富山市一般会計補正予算、4年度富山市一般会計予算など8件について、審査した。

企画事務費（当初分）

委員 市町村合併については、旧町村が十分に恩恵を受けていないという意見も聞かれる。

市町村合併の検証を行う際には、過去にとらわれることなく、合併の効果や課題を今後どのように生かしていくのかを冷静に検証すべきと考えるが、どのように取り組んでいくのか。

市 3年度は、各部署の次長および当時の合併協議会に在籍していた職員を含むメンバーで検証チームを構成し、新市建設計画の内容やその進捗状況の確認、人口や職員数、財政指標などの検証項目の洗い出しに、全庁を挙げて取り組んだ。その上で4年度については、第三者機関として、専門家による合併検証のための有識者会議の設置を予定しており、客観的かつ透明性の高い検証を行っていただくこととしている。

将来市民のためにも、合併の意義や効果も含めて、しっかりと検証していきたいと考えている。

企画事務費および展覧会開催事業費（当初分）

反対意見 シクロシティ株式会社に支払う広告掲出費用等にかかる金額は、自転車市民共同利用システム「アヴィレ」の運営費用を支援する目的で交わした契約に基づくものであり、3年度までの支出額と4年度予算額を合計すると、約1億7,000万円にも上る。

広告の掲出やガラス作品の展示を行うにしても、別の方法であれば、市内の広告業者や障害者の方々の仕事を生み出し、これほど多くの費用もかからないのではないかと考えることから、事業の見直しを求める。

賛成意見 当該広告については、シティプロモーションなどを効果的に行うための大切な広告である。

広告を見た方には、事業に対して関心を持ってもらえると考えており、また、広告料については、各事業において必要な精査をされた金額が計上されている。

厚生分科会

3年度富山市一般会計補正予算、4年度富山市一般会計予算など12件について、審査した。

保育士宿舎借り上げ支援事業（当初分）

委員 本事業は、県外から富山市に転入し、市内の私立保育施設に勤務する保育士を対象としているが、県内の他市町村に実家がある方が、休日や早朝、延長保育に対応するため、実家から通うことが困難な場合もあると思われる。そういった方は本事業の対象とならないのか。

市 まずは、県外から富山市に転入する方を対象として事業を実施したいと考えており、県内に実家がある方については対象としていない。

委員 実際に事業を行う中で、事業所内の保育士間で不公平感が出てくる可能性もあるが、事業の拡充も検討していくのか。

市 対象者を広げるには、財源の確保が必要であり、また、保育人材を確保したいのは富山市だけではないという状況も踏まえ、まずは、県外からの転入者という枠組みで実施し、動向を見ていきたい。

経済環境分科会

3年度富山市一般会計補正予算、4年度富山市一般会計予算など14件について、審査した。

家庭ごみ有料化推進事業（当初分）

委員 家庭ごみ有料化の検討を進めるにあたり、市民の意見も丁寧に求めていく必要があると考えるが、どのように考えているのか。

市 ごみの問題は世界的にも非常に問題となっており、持続可能な社会の構築のために、行政・事業者・市民が一体となって、ごみの発生抑制に取り組んでいく必要があると考えている。その1つの方法として、家庭ごみ有料化の導入を考えているが、これは有料化ありきで進めているわけではなく、検討を始めた段階である。

今後も慎重に検討を重ねながら、市民の皆さまのご理解が得られるよう、丁寧に説明を行いながら、取り組んでいきたいと考えている。

割山森林公園天湖森整備事業（当初分）

委員 公園のリニューアルを行うにあたり、グランピングやパレルサウナなど、冬季期間に人気が高まる施設を整備する予定とのことだが、現状では、除雪を行えていない部分があると聞いている。

利用者が希望されるサービスを、通年で提供できるようにする考えはあるのか。

市 天湖森は、これまで、冬季期間の利用率が低く、利用率の向上を図ることもリニューアルの目的の1つとしている。

冬季期間のサウナ利用の流行などを踏まえ、該当部分の除雪について指定管理者と協議を行うなど、冬季期間の利用率向上に向けて、今後検討していきたいと考えている。

建設分科会

3年度富山市一般会計補正予算、4年度富山市一般会計予算など10件について、審査した。

公園整備事業費の継続費の変更（補正分）

委員 呉羽丘陵フットパス連絡橋の落雪対策について、橋自体をロードヒーティングしており、雪を溶かした水も傾斜により排水されるとのことだが、排水管が凍って水がオーバーフローすることが考えられる。それらへの対策を考えると、今回の増額だけで予算は足りるのか。

市 指摘された件については、当初より一番心配している部分であるので、十分に対策を考えている。

そのため、落雪対策がさらなる経費の増加につながることはないものと考えている。

委員 凍結しやすい場所であることから、排水管の材質や設備などにも注意して、しっかりと対策を検討されたい。

4年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計予算（当初分）

委員 奥田団地については、耐震化から用途廃止へと方針を転換したが、用途廃止が遅れた場合は、周辺への影響も含めて、どのようなリスクがあると考えているのか。

市 奥田団地は、鉄筋コンクリート造の建物であり、1s値と呼ばれる構造耐震指標が極めて低い値となっている。これは、震度6から震度7程度の地震で倒壊や崩壊の可能性が高いレベルとされている。

また、2年度、コンクリートの再調査を行ったところ、深刻な劣化が進んでおり、当局としては地震発生時の不安が高まっていると認識している。地震による建物の倒壊で人命に損害が出れば、取り返しのつかないことになると考えており、また、建物の瑕疵により倒壊した場合には、損害賠償責任により莫大な財政負担が生じるというリスクがあるものと考えている。

総務文教委員会

富山市芸術文化ホールの指定管理者の指定の件、富山市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件など9件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

- 議会事務局
 - ・ 政務活動費に係る住民訴訟への対応
- 企画管理部
 - ・ 令和4年4月行政組織の一部改正
 - ・ 第2次富山市公共施設マネジメントアクションプラン実行編の策定
 - ・ 富山市国土強靱化地域計画（第2期）の策定
 - ・ 富山市人材育成基本方針の改訂概要
- 教育委員会
 - ・ 富山市立小・中学校再編計画
 - ・ 牛乳に起因する集団食中毒の対応
- 財務部・出納課・歳入等
 - ・ 契約制度の更なる適正化に向けた取組
 - ・ 富山市市税条例の一部改正（案）
 - ・ 富山市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正（案）

厚生委員会

富山市・医師会急患センターの指定管理者の指定の件、富山市民生委員定数条例の一部を改正する条例制定の件など11件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

富山市立看護専門学校条例の一部を改正する条例制定の件

委員 今回の条例改正により、5年度以降の入学から、授業料が月額で3,000円、3年間では10万8,000円の値上げとなる。生活困窮世帯の学生には減免制度を設けるなど、市立の看護専門学校であることの意義や目的などの観点からも、さまざまな配慮が必要ではないか。

市 入学試験料や入学金を合わせると、3年間の全体の学費としては14万円程度の値上げとなり、生活困窮世帯や低所得の方に対する配慮は重要なことと考えている。

なお、現行の支援制度としては、富山市立看護専門学校では貸与型の奨学金があるが、5年度からは、授業料の減免制度や最大で年額80万円の給付型の奨学金制度で構成される国の高等教育就学支援新制度の導入に向けた手続きを、現在行っている。

生活困窮世帯の学生に対する支援について、今後もどのような対応が必要なのか考えていきたい。

【所管部局からの報告事項】

- 病院事業局
 - ・ 令和4年4月病院事業局組織の一部改正（案）
- 福祉保健部
 - ・ 高齢者ふれあい入浴事業



富山市立看護専門学校

経済環境委員会

富山市水橋東部農村地域交流センターの指定管理者の指定の件、とやまインキュベータ・オフィス条例の一部を改正する条例制定の件など6件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

【所管部局からの報告事項】

- 農林水産部
 - ・ 富山市古洞の森自然活用村の今後



富山市古洞の森自然活用村

建設委員会

土地取得の件（城山公園用地）、富山市消防団条例の一部を改正する条例制定の件など8件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

また、陳情1件については、「不採択」すべきものと決した。

稲荷公園駐車場の放置自動車及び利用目的実態調査等に関する陳情

市 昨年12月16日より、駐車台数や公園利用以外の駐車などについて、延べ12日間の現地調査を行ったところ、常習的な公園利用以外の駐車と判断できる車両が20台あった。

これらの車両に対し、フロントガラスのワイパーに警告文を挟み、経過を観察したところ、20台中17台は2回の警告でその後の駐車は確認されていない。

このことから、警告文を挟むという対応は、一定程度の効果があるものと考えている。

また、駐車場入口のゲート設置については、概算で初期費用が1,200万円以上かかり、ランニングコストも600万円程度かかる見込みであることから、費用対効果も踏まえて、今後とも職員による定期的な巡回監視を行って対応していきたいと考えている。

委員 調査期間中もトラックなどの夜間駐車があったという話を聞いているので、引き続き巡回監視を行ってほしい。

結果 不採択すべきものと決した。

【所管部局からの報告事項】

- 建設部
 - ・ 訴えの提起の結果
- 活力都市創造部
 - ・ 富山市空き家実態調査の結果

富山市議会自由民主党

金厚 有豊



市長の市政運営

問 市長就任から2年目を迎え、今後どのような想いを持って市政運営に臨むのか。

答 就任してからの1年間は新型コロナウイルス感染症対策に最優先で取り組むとともに、公約に掲げた諸施策についても、その取り組みを開始できたことに一定の手応えを感じている。4年度においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と社会経済活動の両立に万全を期すことはもとより、公約の実現に向けた各種取り組みをさらに推し進めていきたい。まずは第2次富山市総合計画後期基本計画に位置付けたさまざまな事業の着実な実施に努めるとともに、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりの継続・深化により、郊外や中山間地域等を含めた市域全体にその果実を行きわたらせ、市民が広く政策の成果が実感できるように取り組みたい。また、今後、児童生徒数が急激に減少する中、子どもたちに質の高い教育を提供していくためには、学校の適正規模・適正配置は避けて通れない重要な課題である。4年度から市立小・中学校再編計画をたたき台とした地域の皆さまとの本格的な協議が行われていくことになるが、市教育委員会と連携しながら、次代を担う子どもたちの教育環境の整備や教育の質の向上にしっかりと取り組んでいきたい。このほかにも諸課題があるが、就任2年目となる4年度においても、市民重視、現場重視、スピード重視の基本姿勢でさまざまな課題の解決に挑んでいきたいと考えており、引き続き市民の皆さまが生きがいと幸せを実感しながら暮らすことのできる「幸せ日本一とやま」の実現に向けて、市政運営に全身全霊をささげる所存である。(市長)

防災危機管理

問 4月から設置される防災危機管理部はどのような組織体制になるのか。

答 現在、複数の部等に分かれる危機管理部門を「防災危機管理部」に独立、集約化し、危機管理、防災、防犯、交通安全対応を担う組織体制の強化を図り、「防災危機管理課」と「生活安全交通課」の2課を設置する。

これにより①平常時から危機事態に関する情報が一元的に蓄積され、事態発生時の迅速で的確な初期対応が可能②対策本部の設置や開催の権限の一元化により、あらゆる危機事態に対し円滑な着手が可能③情報発信の迅速化・的確化一など、本市における危機管理体制が強化される。危機事態発生時の初動から対応方針の決定までを切れ目なく迅速・的確に実行する体制へ移行するとともに、平常時から職員の危機管理意識の高揚や国および県その他関係機関との連携強化に向けた取り組みを推進するなど、市民の暮らしの安全安心のため、今後とも危機管理能力の一層の充実・強化に努めたい。(市長)

富山市立小・中学校再編計画

問 今後どのような形で地域と対話しながら説明を行っていくのか。また、再編後の学校に通わせる保護者世代の意見をどのようにくみ取っていくのか。

答 学校再編計画をもって直ちに学校統合等を行うものではないが、将来の子どもたちの教育環境を考え、今から保護者や地域と議論することが必要である。本年4月以降、まずは地域生活圏を基本に学校再編計画についての説明会を開催し、その上で再編対象となる校区へ説明したいと考えている。また、富山市PTA連絡協議会と連携を深め、保護者等と個別に意見交換の場を持つことを検討するとともに、子育て世代を対象とした調査を行い、再編の賛否だけでなく、ニーズや課題をしっかりと把握していきたい。まずは学校の在り方、そしてそれに密接に関連する事柄に限った形で議論を進め、その上で再編・教育に関する事柄は教育委員会で承り、地域やまちづくりに関する事柄については、市長部局と情報共有をしながら、議論の熟度に応じた対応が必要と考える。(教育長)



【質問項目】

- ▼前建設部長逮捕 ▼市長の市政運営 ▼第2次富山市公共施設マネジメントアクションプラン ▼デジタル田園都市国家構想
- ▼防災危機管理 ▼当初予算 ▼市税 ▼地方交付税 ▼市債等による財源確保の状況 ▼富山市立小・中学校再編計画
- ▼新型コロナウイルス感染症対策 ▼子ども・子育て支援施策 ▼富山市総合体育館の民間事業化 ▼病院事業の経営 ▼ゼロカーボンの推進
- ▼家庭ごみ有料化 ▼中小企業への支援 ▼天湖森公園のリニューアルと細入地域の活性化 ▼スマート農業など ▼公共交通政策
- ▼除雪対策 ▼道路維持管理 ▼浸水対策 ▼住宅施策 ▼上下水道事業 ▼消防行政

家庭ごみ有料化

問 家庭ごみ有料化に向けて、今後どのように検討を進めていくのか。

答 これまでは分別回収によるリサイクルの推進に重点を置いてごみの減量化・資源化に取り組んできたが、家庭ごみの排出量は近年横ばいで推移し、全国平均を上回る状況が続いていることから、ごみの総量を減らす「発生抑制」に重点をおいた取り組みを推進し、経費の低減や将来世代の負担軽減等を図り、持続可能な循環型社会の実現につなげたい。現在、家庭ごみの有料化制度の素案の作成を進めており、既に制度を導入している都市における効果や課題の対応策などを調査し、成果が見られる取り組みを参考としながら、本市の実情に適した対応策を作成する予定である。素案作成後は、富山市環境審議会への諮問・答申や、パブリックコメントも実施し、広く市民へ理解と協力を得られる制度構築に努めたい。
(環境部長)

天湖森公園のリニューアルと細入地域の活性化

問 天湖森公園のリニューアルによる細入地域の活性化に寄せる市長の思いは。

答 細入地域において地域資源を活用した活性化の実現に向け、天湖森のリニューアルは非常に重要な事業と考えており、現在のアウトドアキャンプの需要の高まりに対応すべく、ソロキャンプからグランピングまでさまざまなスタイルに対応できる施設等を整備し、早ければ5年度末のオープンを目指したい。また、地域内での回遊性を図るため、温泉施設「楽今日館」や道の駅「林林」との連携策の検討、さらには地元企業等との連携による園内の自然環境を活用したソフト施策も予定しており、地域の住民や企業、株式会社ほそいりと市が一体となって地域の魅力を県内外へ発信することにより、細入地域の持続的な発展につながっていくのではないかと考えている。
(市長)

自由民主党

柝山 数男



令和4年度の行政運営

問 予算編成において心がけたことは。

答 まずは、財政の健全性を堅持することを第一に、新たな事業を行うための財源は既存事業を見直しで捻出することとし、財政調整基金を繰り入れることなく、見込み得る財源の範囲内で予算を組むことを心がけた。その上で、市民の皆さまに、将来に向け夢と希望を持っていただける予算となるよう、「幸せ日本一とやま」の実現につながる事業に重点的に配分することに加え、市全体にバランスよく配分することにも配慮し、予算編成に取り組んだところである。
(市長)

市町村合併の検証

問 検証結果を踏まえた新しい富山市の将来像を導き出し、実現するための政策に反映させることが重要と考えるが、見解は。

答 今回の検証は、合併そのものの是非を問うためのものではなく、有識者会議による検証結果を今後の市政運営に役立てることを目的として実施するものであり、富山市が、将来市民に対しても責任の持てる持続可能な都市であり続けるため、これからの施策等に反映していくことが大切であると考えている。
(企画管理部長)

スマートシティの取り組み

問 市長が掲げる富山市版スマートシティとは具体的にどのようなものか。

答 これまで取り組んできたコンパクトシティ政策を補完し、さらに発展させるものであり、こうしたコンパクトシティ政策とスマートシティ政策の融合は、コンパクトシティ政策によって多くの成果を生み出し、国内外から高い評価を得てきた富山市だからこそ実現可能な取り組みである。今後、有識者会議や市民ワークショップ等を通じ、幅広く意見を伺いながら、4年度中を目途に、目指すべきスマートシティの将来像や推進方針等について「(仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン」として取りまとめることとしており、市民一人ひとりが日常の暮らしの中で、豊かさや利便性を実感できる「幸せ日本一とやま」の実現を目指していきたい。
(市長)

【質問項目】

- ▼令和4年度の行政運営 ▼市町村合併の検証
- ▼県や周辺市町村との連携 ▼スマートシティの取り組み
- ▼本市のカーボンニュートラル ▼議会と向き合う姿勢
- ▼市民と向き合う姿勢

公明党

佐藤 則寿



子育て支援と次世代を担う人材育成

問 仕事と不妊治療の両立について職場の理解促進や、治療を受けても出産に至らなかった方への精神的支援について、本市の取り組みは。

答 「企業向け妊娠・子育て応援シンポジウム」を開催し、不妊治療の内容や仕事との両立に役立つ制度の講演などを通じて、職場の理解の促進に努めている。

不妊治療を受けている夫婦はさまざまな困難と向き合いながら治療を続けているが、必ずしも妊娠や出産につながるとは限らないことから精神的な負担は計り知れない。本市ではこのような方々に対し、保健福祉センターへの来所時や病院からの連絡があった場合には、家庭訪問を行うなど、相談者の悲しみや辛さに寄り添い対応している。さらに、県の「不妊専門相談センター」と連携を図りながら、精神的負担が少しでも軽減するよう支援に努めている。 (こども家庭部長)

在り方を検討し、AI(人工知能)を活用したデマンド交通やNPO法人等による無償でのボランティア輸送、グリーンスローモビリティや超小型モビリティの運行、シェアリングサービスなど新たな移動手段の導入の可能性を調査することとしている。 (活力都市創造部長)

人と地域がつながるまちづくり

問 公明党への要望と期待について、市長の見解は。

答 2月に石井啓一幹事長が来県された際には、新型コロナウイルス感染症の影響により、経営が厳しい状況にある地域公共交通の維持に対する補助制度の拡充などの支援のほか、「GoToトラベル事業」の感染収束後の早期再開等について直接要望させていただいた。政権の一翼を担う公明党の果たされる役割や国民からの期待は大変大きいものがあると認識しており、引き続き、市政運営にお力添えをお願いしたい。 (市長)

スマートシティ戦略と安全なまちづくり

問 交通弱者のための移動支援について、今後の施策の展開は。

答 市では「地域自主運行バス」の支援や「市営コミュニティバス」の運行などを行っている。4年度には、その利用状況等の検証を行い、将来を見据えた

【質問項目】

- ▼子育て支援と次世代を担う人材育成
- ▼新型コロナウイルス感染症拡大防止と経済活動の両立
- ▼スマートシティ戦略と安全なまちづくり
- ▼ゼロカーボンシティの取り組みと産業活力向上策
- ▼人と地域がつながるまちづくり

立憲民主市民の会

村石 篤



富山市立小学校・中学校の再編

問 学校再編の基本方針における学校規模が児童生徒の学力の改善や非認知能力の育成につながるとは限らないと考えるが、教育長の見解は。

答 小学校では12学級、中学校では9学級を下回ると「全ての学年でクラス替えができない」「専門教科の教員が確保できない」等の課題が生じることから、望ましい学級数を小学校12~18学級、中学校9~18学級とした。今後、予測困難な時代を生き抜く子どもたちに必要となる、多様な価値観に触れて考えを見直したり、異なる意見の人と交渉して調整する力等を育むには、幼少期から切磋琢磨し合える環境が必要だ。市教育委員会では、基本方針で定めた小中学校の学級数、学級人数が、学力改善のみならず、主体性や社会性等の非認知能力の育成等の観点からも妥当と考える。(教育長)

女性活躍推進

問 本市の一般行政職における、過去3年間の採用者および3年度の管理職に占める女性の割合は。

答 元年度は採用者68人のうち女性は30人(44.1%)、2年度は72人のうち39人(54.2%)、3年度は49人のうち28人(57.1%)と、直近では半数以上を女性が占めており、また、3年4月1日現在の一般行政職の管理職に占める女性の割合は10.3%である。なお、保育士や看護師等の職種を含む管理職全体に占める割合は15.7%で、係長職以上の職員全体に占める割合では28.3%となっている。(企画管理部長)

【質問項目】

- ▼富山市立小学校・中学校の再編
- ▼藤井市長の「幸せ日本一とやま」を目指すこと
- ▼保育所等 ▼病院事業局
- ▼「地方公務員におけるダイバーシティ(※)・働き方改革推進のためのガイドブック」

※ダイバーシティ…多様性のこと。

一般質問

21人の議員が一般質問を行いました。その中から一部の質問・答弁の要旨をお知らせします。議員名の横のコードを読み込むと、インターネットで一般質問の様子を閲覧できます。

富山市民病院の経営

高田 重信（富山市議会自由民主党）



問 トモセラピー^(※)の特色と実績、ならびに今後の放射線治療全般の展望は。

答 トモセラピーによるがん治療は、複雑な腫瘍の形状に合わせた高線量照射が可能のため効果が高く体への負担も少ない。加えて、市民病院では放射線治療の常勤専門医による定期診察や治療計画の変更対応等、きめ細かい放射線治療が可能であり、機器を使用した治療実績は6年間で845件と、多くの患者が安心して治療を受けている。地域の医療機関との情報交換を通じ一層の周知に努め、良質な放射線治療を引き続き提供していきたい。（病院事業管理者）



【質問項目】

- ▼国勢調査 ▼地域共生社会 ▼富山市民病院の経営
- ▼農林水産業の新しい取り組み ▼まちづくりと都市計画

※トモセラピー…高精度放射線治療装置。CTと一体となっており、精密な放射線治療の実施が可能。



トモセラピー（高精度放射線治療装置）

公益通報制度

高田 真里（富山市議会自由民主党）



問 市民の不利益にならないよう、市として公益通報の適切な処理のための統括管理が必要と考えるが、見解は。

答 市民から通報があった場合、秘密の保持および個人情報の取り扱いに十分留意しつつ、迅速かつ適切に処理していくことが必要である。各担当課に寄せられる通報を一元的に把握した上で、処理状況を管理するとともに、助言・指導を行うなどの公益通報に係る統括管理体制について、今後、本市でも検討が必要ではないかと考えており、他都市の事例等を調査研究していきたい。（企画管理部長）



【質問項目】

- ▼公益通報制度 ▼保健所の体制強化
- ▼積極的勧奨が再開される子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）の接種
- ▼景観政策 ▼道路土工構築物

学校再編（今後の再編方針）

藤田 克樹（自由民主党）



問 地元が明確な反対をした場合はどうするのか、教育長の見解は。

答 全ての人が賛成あるいは反対する結論となることは難しいと思うが、その中でお互いに納得できる方向性を見いだすことが重要になってくると考えている。まずは、地域に赴き説明会を開催する。説明会では、少子化の進行が続く将来の子どもたちの教育環境を見据え、市教育委員会の考えを伝え、保護者の方や地域の皆さまの意見を伺い、建設的な対話を重ね、多少の時間を要したとしても皆さまの理解を得ながら学校再編を着実に進めていきたい。（教育長）



【質問項目】

- ▼学校再編

これからの富山の「ものづくり」政策

金谷 幸則（富山市議会自由民主党）



問 行政として農林水産物のプロモーションや輸出の支援を行うことが重要と考えるが、見解は。

答 国内でのプロモーションについては、岐阜市や首都圏でとやまの魚をPRしたほか、生産者が都内等で開催される商談会へ出展する際の経費支援等を行っている。輸出の支援については、県と一体で取り組むことがより効果的であることから、「ワンチームとやま」の一員として、農林水産物等の輸出共同プロモーションに取り組み、市内産農林水産物の知名度向上や生産者の所得の向上等につなげたい。（農林水産部長）



【質問項目】

- ▼これからの富山の「ものづくり」政策

地域包括支援センターの枠組み

松井 邦人（富山市議会自由民主党）



問 地域包括支援センターの運営手法を検討する時期に来ていると考えるが、見解は。

答 センターは地域に浸透してきているが、センター間で担当区域の面積や高齢者人口に開きがあること、相談件数や困難事例が増え、業務量が増加傾向にあること等の課題がある。長期的な視点で、高齢者人口や地域の実情に応じた担当区域や、人員体制の検討等について、医療・福祉職、学識経験者、住民の代表等で構成される「富山市地域包括支援センター運営協議会」において協議を重ねたい。（福祉保健部長）



【質問項目】

- ▼高齢者を取り巻く現状 ▼地域包括支援センターの枠組み

成人年齢引き下げによるトラブル防止

松尾 茂 (公明党)



問 富山市消費生活センターが、土日祝日に開所できない理由は。

答 成年年齢の引き下げに伴い相談件数の増加が見込まれる中、質の高い相談体制の維持に不可欠な、消費生活相談に関する資格を保有する相談員が2年度末に1人退職して以降、欠員が続いている。募集しても応募がないのは、県内に資格保有者が少ないことに加え、勤務条件も大きな要因だと考えており、相談業務体制の充実を図るため、平日に比べて相談件数が少なく、他の相談機関による相談受付が可能な土日祝日を閉所することとした。(市民生活部長)



【質問項目】

- ▼富山市レジリエンス戦略の推進
- ▼成人年齢引き下げによるトラブル防止

中心市街地活性化

豊岡 達郎 (富山市議会自由民主党)



問 まちの活性化を目指すボランティアへの支援メニューとその周知方法は。

答 市では「まちなか活性化事業サポート補助金」により、ビアライブやプロジェクトマップ等々のまちなかの活性化に向けたイベントを実施する団体の支援をしている。このように市民が主役となった取り組みが、まちなかの継続的なにぎわい創出につながるものと考えており、本制度を含めた支援メニューをホームページやチラシ等を通じて広く市民に周知するとともに、さらなるにぎわい創出のため必要な支援を行っていききたい。(活力都市創造部長)



【質問項目】

- ▼中心市街地活性化
- ▼令和3年11月に岩瀬地区で行われたグリーンスローモビリティの試験走行
- ▼富山市が自慢できるお魚

少子化対策

田辺 裕三 (富山市議会自由民主党)



問 特定不妊治療費助成制度の経緯や現状をどのように評価しているか。

答 本市では平成16年度から特定不妊治療費の助成を開始し、2年度までの17年間で延べ10,332人に助成している。近年は治療を受けて出産される方の割合が増え、元年度は462組から204人、2年度は415組から163人のお子さんが誕生した。本市の出生数は減少し続けているが、元年度には、特定不妊治療費助成による出生数が年間出生数の約7%を占めており、本事業が少子化対策に大きく貢献しているものと評価している。(こども家庭部長)



【質問項目】

- ▼国土交通省が指定したナショナルサイクリングルート(富山湾岸サイクリングコース)
- ▼少子化対策
- ▼子育て支援
- ▼教育問題

「家庭ごみ有料化」の導入

岡部 享 (立憲民主市民の会)



問 ごみの減量化やリサイクルの推進に向けた取り組みを実行し、家庭ごみの排出量の推移を踏まえた上で、導入の必要性を判断すべきと考えるが、見解は。

答 これまでは有料化を視野に入れながらも導入せず、できる限りの施策に取り組み、ごみの減量化・資源化に努めてきた。しかし、家庭ごみ減量化が十分に進んでいないことから、ごみの「発生抑制」に重点を置いた減量化に取り組むこととし、全国的にも導入が進み、減量効果が認められている「家庭ごみの有料化」について、具体的に導入を検討することとした。(環境部長)



【質問項目】

- ▼奥田団地の今後の対応
- ▼「家庭ごみ有料化」の導入

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

織田 伸一 (富山市議会自由民主党)



問 地域主体でのA I デマンド乗合タクシーの導入を促進し、取り組みを支援すべきと考えるが、見解は。

答 今後さらに人口減少や少子・超高齢化が進行する中で、高齢者等の移動手段や郊外部における交通手段の確保が、ますます重要な課題となる。このことから、市では4年度に、A I デマンド乗合タクシーやNPO法人等による無償でのボランティア輸送など、新たな移動手段の導入可能性調査を行い、地域ごとの特性に合った交通サービスに対する取り組みや支援の方法について検討していく。(活力都市創造部長)



【質問項目】

- ▼公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり
- ▼通学路の安全対策



富山市民球場（アルペンスタジアム） 飯山 勝彦（富山市議会自由民主党）



問 更新されるスコアボードはどのようなものになるのか。

答 具体的な機能の詳細等については、今後、事業者からの提案を参考に検討していくこととなるが、



現在想定している大きな変更点は、表示方式を磁気反転方式からフルカラーLED方式とすることである。この変更により、視認性が向上するだけでなく、メッセージや映像等の表示機能も追加されることから、選手や観客にとって魅力的な演出が可能になるものと考えている。

（市民生活部長）

【質問項目】

▼富山市民球場（アルペンスタジアム） ▼コミュニティ・スクール



更新が予定されている富山市民球場のスコアボード

人口減少問題

橋本 雅雄（会派 誠政）



問 人口減少問題に対してどのように対処していくのか、市長の決意は。

答 持続可能な都市構造の構築を目指すコンパクトなまちづくりを継続、深化させるとともに、AIやIoTを活用したスマートシ



ティの取り組みを融合させることで、広く市民の皆さまに「幸せ」を実感していただくことを目指しており、第2次富山市総合計画後期基本計画等に位置付けた各種施策等を着実に推進していきたい。また、4人の子を持つ親として、子どもを産み育てることの素晴らしさを、多くの市民の皆さまにお伝えしていきたい。（市長）

【質問項目】

▼人口減少問題

呉羽丘陵フットパス橋梁事業

吉田 修（日本共産党）



問 橋梁建設予定地に急傾斜の特別警戒区域がある。専門家は、そこに大規模な構造物を造る時には、対策を講じることが大事だと指摘しているが、工事中ならびに完成後の安全対策は万全か。



答 設計にあたり、土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域内で土砂の掘削の必要があることや、施工後に特段のり面対策等が必要かなどについて、道路のり面を管理し、同区域を指定した県と協議を行ったところ、当該箇所での施工に問題がなく、施工後も特段の対策を行う必要がないことを確認した。（副市長）

【質問項目】

▼小中学校統廃合 ▼呉羽丘陵フットパス橋梁事業
▼「高齢者ふれあい入浴券」と銭湯の支援

呉羽丘陵フットパス橋梁事業

大島 満（政策フォーラム32）



問 呉羽丘陵フットパス整備計画検討委員会のルート検討について、構造検討部会を含め、各委員が、つり橋のコストが当初予定の2億2,000万円から12億円になったことを知ったのはいつか。



答 2億2,000万円は、諸経費や付帯工事費等を含まないシンプルなつり橋の参考額で、12億円は、諸経費や付帯工事費等を含み、機能・デザイン等が固まった段階で、他都市の類似つり橋の事業費を参考にした概算額だ。12億円程度になる可能性があることは元年11月20日の構造検討部会で説明した。（副市長）

【質問項目】

▼八尾中学校のスポーツの支援 ▼呉羽丘陵フットパス橋梁事業
▼土木技術職員

奥田団地

谷口 寿一（気魄）



問 廃止・取り壊しへの方針変更に至った経緯について、市長の見解は。

答 2年度に改めてコンクリート試験を行ったところ、劣化が進み、耐震補強では十分な効果が得られない恐れがあることから、工事の実施は困難と判断した。建て替えについては、家賃を民間賃貸並みに引き上げても採算が取れず、多くの既存入居者の受け皿にはならないため合理性がない。こうした状況から、入居者に立ち退いていただいた後、早期に建物を解体することが入居者自身や地域住民の生命や財産を守る最善の方法であるとの結論に至った。（市長）



【質問項目】

▼富山市総合体育館 ▼奥田団地

家庭ごみ有料化

久保 大憲 (自由民主党)



問 市民の理解が得られる説明や減量化の取り組み過程が重要であると考えますが、見解は。

答 制度素案の作成中であり、作成後、富山市環境審議会への諮問・答申を経て、慎重な検討の上、制度内容等をまとめる。併せてパブリックコメントも実施し、広く市民にご理解とご協力をいただける制度の構築に努めたい。なお、住民説明会は、有料化が決定した場合、実施前に校区ごとに行う。現時点で条例の改正前に説明会を行うことは考えていないが、必要となれば実施方法も含め検討したい。(環境部長)



【質問項目】

▼家庭ごみ有料化 ▼信頼回復と再発防止に向けた取り組み

子育て支援

柏 佳枝 (公明党)



問 保育士不足が課題となっているが、今後どのように対応していくのか。

答 本市では、働く職場の環境改善として、ICT化による保育業務の負担軽減等を国の制度を活用しながら進めてきた。また、市単独で、年度途中の入所に対応するための保育士配置等を公立・私立を問わずに行い、保育現場の負担軽減を図ってきた。これらに加え、4年度は新たに保育士等の処遇改善事業や保育士の宿舍借り上げへの支援事業を実施する等、引き続き保育士の確保につながる施策の推進に努めていきたい。(こども家庭部長)



【質問項目】

▼福祉施策 ▼デジタル人材育成 ▼子育て支援

除雪体制

東 篤 (立憲民主市民の会)



問 自治振興会や市民からの声を翌年度の降雪期の対応に生かすことが必要と考えるが、見解は。

答 今冬も除雪に関するさまざまな意見や要望を頂いた。これらの意見や要望とともに、地域の代表者の方々と除雪業者へのアンケートや、意見交換会を通して、除雪作業の成果や課題を整理する。今後も自治振興会や地域の代表者、除雪業者、市民からの声にしっかりと耳を傾け、継続的に道路除雪実施計画の見直しを行うことで、より効率的な除雪体制への改善を図っていきたい。(副市長)



【質問項目】

▼コンパクトシティ政策とスマートシティ政策
▼新型コロナウイルス感染症対策 ▼今年度の除雪体制

呉羽丘陵フットパス橋梁官製談合事件を巡る諸問題

赤星 ゆかり (日本共産党)



問 「構造検討部会」の検討前から設計業者が決まり、連絡橋の案が固まっていたのはなぜか。また、このように整備を急いだ理由は。

答 業務内容に「構造検討部会」の資料や議事録の作成等を含むため、「構造検討部会」開催前に業務委託を行っている。連絡橋の構造は、「構造検討部会」で意見を伺いながら実験等を進めている。市としては、平成31年4月に「呉羽丘陵フットパス整備計画検討委員会」で連絡橋の整備方針が定まった後、スピード感を持って整備事業に取り組んできたものである。(副市長)



【質問項目】

▼学校給食費の値上げ回避 ▼政務活動費住民訴訟
▼呉羽丘陵フットパス橋梁官製談合事件を巡る諸問題

コンパクトシティとスマートシティ

澤田 和秀 (自由民主党)



問 郊外地域の新興住宅地の活性化策としてグループホーム等の福祉サービス施設の誘致が考えられる。市長の見解は。

答 地域特性に応じた空き家、空き地の利活用により既存住宅地のコミュニティを維持していくことは重要である。グループホーム等が郊外地域の新興住宅地に立地することは、低未利用地の利活用を図る一つの手段として考えられるが、現時点では市が福祉サービス施設といった特定の施設を誘致することは考えていない。なお、民間活力による取り組みへの支援については、引き続き調査研究していきたい。(市長)



【質問項目】

▼コンパクトシティとスマートシティ ▼富山市における福祉施策

呉羽丘陵フットパス連絡橋整備工事に伴う遺構調査および復元

金岡 貴裕 (自由民主党)



問 発掘調査で遺構が確認されたことを受け、連絡橋の設計の見直しについてどのような検討を行ったのか。

答 連絡橋の整備工事においては、事前に市埋蔵文化財センターと協議の上、位置をずらすことが困難な連絡橋の構造物周辺部分については発掘調査を行い記録保存等を実施し、また、工事箇所まで建設機械が通行する仮設道路部分については、遺跡に影響が及ばないよう、「掘削」を伴わない「盛り土」による仮設道路とすることで、遺跡の保護について、最大限の配慮に努めている。(副市長)



【質問項目】

▼児童クラブ ▼消防団の成り手不足解消 ▼小中学校の通学路整備
▼呉羽丘陵フットパス連絡橋整備工事に伴う遺構調査および復元

次回6月定例会の日程（予定）

6月10日	本会議（提案理由説明ほか）
6月15日	本会議（一般質問）
6月16日	本会議（一般質問）
6月20日	本会議（一般質問）
6月21日	本会議（一般質問） 予算決算委員会（前期全体会）
6月22日	予算決算委員会分科会（経済環境） ・ 経済環境委員会
6月23日	予算決算委員会分科会（厚生） ・ 厚生委員会
6月24日	予算決算委員会分科会（建設） ・ 建設委員会
6月27日	予算決算委員会分科会（総務文教） ・ 総務文教委員会
6月28日	予算決算委員会（後期全体会）
6月30日	本会議（委員長報告・質疑・討論・採決ほか）

【会議を傍聴予定の皆さまへ】

傍聴される際には、手洗い、マスクの着用を含む咳エチケットの徹底などにご協力をお願いいたします。

・職員による検温

・傍聴申込書への緊急連絡先の記入

へのご協力もお願いしております。

※なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、傍聴の取り扱いを変更する場合があります。

最新の日程や傍聴の状況につきましては、富山市議会のホームページ等でご確認ください。



ケーブルテレビでの本会議の生放送

ケーブルテレビ富山、上婦負ケーブルテレビ

ただし、上婦負ケーブルテレビでの放送は、都合により、録画放送になる場合があります。

インターネットでの本会議の生中継および録画中継



インターネットの録画中継は、各本会議終了後、おおむね4日後（土・日および祝日を除く）からご覧いただけます。なお、編集作業等により公開が遅れることがあります。

本会議の会議録



本会議の会議録は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。委員会・諸会議の議事録等も、ホームページに掲載しています。

4年3月定例会の会議録は、6月上旬に掲載する予定です。なお、会議録の冊子は、市立図書館（本館およびC i Cビル4階とやま駅南図書館）や市役所東館3階の市政情報コーナーで、閲覧することができます。

No.67（2年12月定例会号）分からは、とやま市議会だよりのテキストデータ（音声読み上げ対応）版の公開もしています。



請願・陳情（市政への要望・意見）の提出

請願書（議員の紹介あり）・陳情書（議員の紹介なし）を提出される方は、次の要領でお出しく下さい。

- ① 請願・陳情の趣旨を具体的に記載してください。
- ② 提出年月日、提出者の住所および氏名（法人の場合は名称と所在地、代表者名）を記載し、署名または記名押印の上、議長宛てに提出してください（署名の場合は押印が不要になりました）。
- ③ 請願書の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- ④ 定例会開会日の正午までに提出されたものを、その定例会で審査・処理しています。

【お問い合わせ】 議会事務局 議事調査課 TEL 443-2158

※議員の連絡先は、富山市議会のホームページでご覧いただけます。

請願（陳情）の書式例

〈表紙〉	〈本文〉
〇〇〇に関する請願書 （陳情書）	〇〇〇に関する請願 （陳情）
紹介議員 （陳情書には不要）	1：趣旨 2：理由
〇〇〇〇 （署名または記名押印）	年 月 日 請願（陳情）者 住所 氏名
	（宛先）富山市議会議長

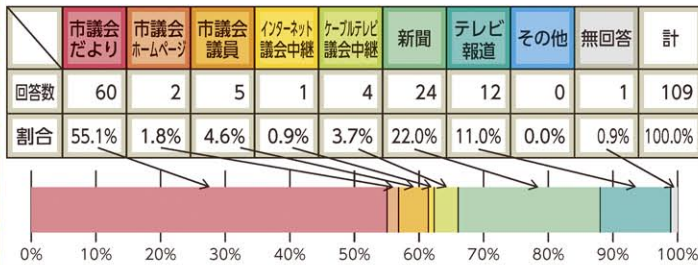
とやま市議会だより アンケートの結果

ご協力いただき、ありがとうございました。

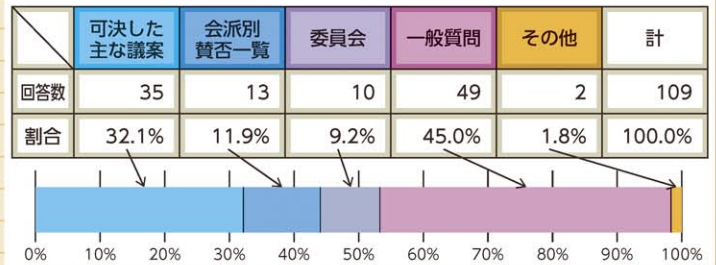
市民の皆さまに、より親しまれる「とやま市議会だより」にするため、前号でアンケートを実施し、61人の方からご回答をいただきました。その結果の概要について、お知らせします。

※プレゼントは、厳正な抽選のうえ、当選された方へ発送いたしました。

問1 富山市議会の活動などの情報は 何で入手していますか。(複数回答可)



問2 「とやま市議会だより」で関心のある 記事は何ですか。(複数回答可)



問3 「とやま市議会だより」について、 ご意見・ご要望や読んでみたい記事等 ご自由にお書きください。

- 紙面のデザインがとても読みやすくわかりやすい。
- 市議会だよりによって、あまり調べることや見ることのない市議会の動きや議案を詳しく知ることができ、良い機会である。
- 富山市の現在の課題や問題点を把握するのに役立っている。
- 議員の意見等を知ることができて勉強になる。
- 私たちの税金がどのように使用されているか議会で議論されて決まっていく様が見える。
- 委員会についてよくまとめられていて活動内容がわかりやすい。
- 一般質問が分かりやすく、見ていて面白い。知らないことなど大切な内容が多い。
- 一般質問について、質問した議員の顔写真が掲載してあるのが良い。
- 仕方ないと思うが文字だらけで読みにくい。
- 常任委員会のページについて、字が多く小さいので、字をもっと大きくしてほしい。また、もっとわかりやすくまとめてほしい。
- 議員の顔写真の掲載は年度初めだけで良いと思う。

- 議員の写真部分をなくし、わかりやすくなるようイラストなどを掲載したら良い。
- QRコードを読み込むと一般質問の動画を閲覧できるが、年配の方がこの仕組みを理解できるような優しい解説を掲載した方がよい。
- 可決した議案の詳細を掲載してほしい。
- 議員別の可決案件や可決率を、表やグラフなどによりわかりやすく見やすくなるよう掲載してほしい。
- 各議員の活動についての特集や、抱負や取り組んでいることなどについての市議への個人インタビュー記事を掲載してほしい。
- 議員の活動を知るためにも、一般質問の記事のスペースを拡大してほしい。
- 市議会へ意見を言える場や方法についてわかりやすく掲載してほしい。
- タブレット端末導入検討の状況を掲載してほしい。
- 行政視察報告について、写真付きで現状が知りたい。また、12月定例会号に掲載されていた建設委員会による呉羽丘陵フットパス連絡橋建設地の視察後の報告、市の対応、議会での質問等を掲載して欲しい。市民も知りたいと思う。
- ウェブ速報版による迅速な情報展開がありがたい。ただ普段、市議会だよりの発行月を意識しておらず、早めに公開されても見逃しそうである。登録者用のメールマガジンなどで速報版の公開情報を知らせしてほしい。

※ご意見等については、類似したものをまとめ、要約して掲載しております。市民の皆さまから、このほかにも、たくさんのご意見・ご要望等をいただきました。お寄せいただいたご意見は、今後のとやま市議会だよりの企画・編集の参考にさせていただきます。

- ◎期間：令和4年2月20日～3月11日
- ◎件数：61件（Eメール24件、FAX5件、郵便32件）
- ◎年齢：

10～20代	11.4%	30代	11.5%
40代	11.5%	50代	14.7%
60代	27.9%	70代	16.4%
80代	6.6%		

アンケートのご回答
ありがとうございました！



次号 (No.74) は、8月20日発行の予定です。
なお、8月上旬ごろに、ウェブ速報版を富山市議会ホームページにて公開予定です。

